学校番号	１００４

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学習した「絵画」「彫刻」「デザイン」に加えて、「版画」の制作に取り組みます。美術Ⅰでは色彩や造形の基礎を学びましたが、その知識と経験を生かした作品を作ります。作品制作を通して、自分のイメージを形にする楽しさや喜びを知り、『自分らしい表現』『自分にしかできない表現』を目指しましょう。
・課題には毎回テーマがありますが、自分の作品の制作意図をしっかり持つことが大切です。自分の表現意図にあった方法を工夫し、見通しを持って制作に取り組むことも重要です。創造的な表現をするために、さまざまな画材や用具の扱い方も覚えましょう。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することをめざす。

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。【知】 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に着け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。【技】	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	彫刻立体で表現する	「彫刻」「鑑賞」 ・彫刻の歴史と技法 ・現代の彫刻 ・具象と抽象 ・作品制作 ・相互鑑賞	a:重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。(知) 意図に応じて、材料や用具の特性を生かして創意工夫し、個性豊かで創造的にあらわしている。(技) b:自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的なよさや美しさを考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。(思) 抽象彫刻のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。(鑑) c:自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から考えたりした形を基に、立体であらわす表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	作品 観察 ワークシート
	情報を伝えるデザイン	「デザイン」「鑑賞」 ・デザインの役割 ・文字やマークの効果 ・イラストレーションの意味 ・発想の広げ方 ・作品制作 ・相互鑑賞	a:形や色彩、文字などの工夫を基に、情報を伝えるためのデザインの効果を捉えることを理解している。(知) 伝達の目的や条件などに合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的にあらわしている。(技) b:伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。(知) ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 c:目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	作品 観察 ワークシート

2学期	鑑賞	「鑑賞」 ・大阪府高等学校美術・工芸展（高校展）鑑賞 ・レポート	a：作品の構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを自分なりに捉えることを理解している。（知） b：多様な作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c： 作品鑑賞を通して様々な作品に興味を持ち今後の学習に意欲を高めている。	レポート	レポート	レポート
	油彩画	「絵画」「鑑賞」 ・さまざまな絵画 ・油彩画の技法 ・構図と色彩 ・下地とマチエール ・作品制作 ・相互鑑賞	a：形や色彩、構図などの性質やそれらが感情にもたらす効果、具体物や抽象的なものの組み合わせなど造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。（知） 意図に応じて油絵の具の特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的にあらわしている。（技） b：想像や空想したイメージや夢、実際の風景から主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、配置、組み合わせなどについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c：風景から感じ取ったよさや美しさ、自分のイメージや夢の不思議さや面白さなど、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	作品 観察 ワークシート
3学期	版画	「版画」「鑑賞」 ・さまざまな版画 ・版画の技法 ・用具の扱い方 ・発想の広げ方 ・作品制作 ・相互鑑賞	a：版による表現の効果や版画の技法と材料、用具の特性を理解し、意図に応じて創意工夫し、個性豊かで創造的に主題を追求してあらわすことを理解している。（知） 線や面などの版による表現の特性や効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫するとともに、個性豊かで創造的にあらわしている。（技） b：版画表現の特性を生かして主題を生成し、形体や構成、版の形式による効果などを考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c：版の特性を生かして構想を練り、意図に応じて工夫してあらわす表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	作品 観察 ワークシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度